



7/18～8/2 つなぐ ひろがる 有明の海 ～海フェスタくまもと～

▶荒尾干潟で堀江市民環境部長（右）から御説明を受けられる秋篠宮同妃（左）



荒尾市を含む7市1町で熊本港を中心に海フェスタくまもとは開催されました。熊本港では、船の一般公開・乗船体験・くまもと「食」フェアなどが行われ、たくさんの人でにぎわいました。荒尾市からは荒尾干潟を紹介するパネルを展示。多くの方が足を止め、見入っていました。7月23日、海フェスタ御臨席のため、熊本を御訪問中の秋篠宮同妃両殿下が荒尾干潟と小代焼ふもと窯を御視察になりました。干潟では、地元住民600人が小旗を振って歓迎しました。



1 練習帆船「海王丸」 2・3 荒尾干潟を紹介するパネル展示 4 左から荒尾市盛り上げ隊・炭坑ガールズ、荒尾発ご当地アイドルMJK、荒尾市応援隊長・西村赤音さん、荒尾市マスコットキャラクター・マジャッキー。熊本港に駆けつけ、荒尾のPRをしてくださいました



7/31 川にすむ身近な生きものたち ～生物教室～

▶川に入り、網を使って石の裏にいる生きものを捕まえました



岩本橋近くの関川で開催された生物教室に荒尾市・南関町・大牟田市の子ども34人が参加しました。子どもたちは川底にいるマダラカゲロウなどの水生生物を捕まえ、分類し、川の水の環境評価を行いました。また、川の水の色や臭いを確認し、試薬を使って水質を調査しました。ことしの結果は5段階中2番目の「親しめる水環境」で、昨年より1段階、良くなっていました。参加者は「初めて見る川の生物に驚きました」と感想を寄せました。

8/5 畳の上の白熱バトル ～有明塾 楽しい百人一首かるた教室～

▶試合を通して、ルールだけでなく、礼儀も学ぶことができました



有明塾 楽しい百人一首かるた教室は有明高校で行われました。同校の百人一首部の生徒が小学生14人を丁寧に指導。初めて参加する子どももいましたが、分かりやすい指導のおかげで、すぐにルールを理解し、白熱した勝負を繰り広げていました。参加者は「百人一首は昔の漢字で書かれている札もあり、昔の文化に触れられるので、面白かったです。でも、勝負する以上は勝ちたかったので、全力で頑張りました」と話していました。

7/28 理科づくりの一日 ～荒尾・岱志理科教室 楽しい理科実験教室～

▶化学の知識を応用して、アイスクリームを作りました



荒尾・岱志理科教室 わくわく！楽しい理科実験教室は荒尾・岱志高校で開催されました。市内の小学4～6年生64人が参加。理科科と理科部の生徒や教員指導の下、物理「バランストンボづくり」、化学「液体固め」、生物「干潟の生きものに触れる」を行いました。参加者は「実験が大好きなので、どの実験もとっても面白かったです。今日学んだことを夏休みの自由研究のテーマにしようと思います」と話していました。

7/29 郷土の偉人・宮崎兄弟を知る ～宮崎兄弟資料館 夏休み子ども教室～

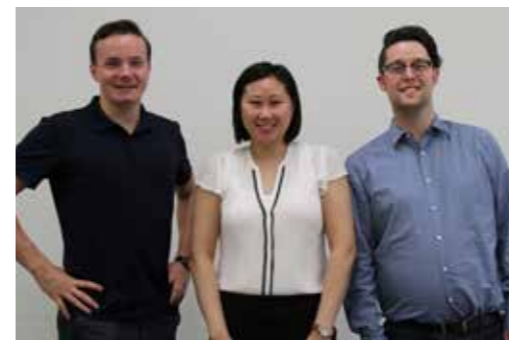
▶孫文と滔天の友情を伝える紙芝居「宮崎兄弟ものがたり」



宮崎兄弟の生家施設で地元の子どもたちを対象に宮崎兄弟を学ぶ講座と資料館見学会を行いました。参加した21人の子どもたちは、紙芝居『宮崎兄弟ものがたり』で宮崎兄弟のことを学んだり、簡単な宮崎兄弟クイズに挑戦したりしました。子どもたちからは「宮崎兄弟のことはよく知りませんでした。孫文と滔天がどういう関係か分かって楽しかったです」「夏休みの自由研究にします」という声が聞かれました。

8/5 荒尾と世界の架け橋に ～新ALT着任～

▶左から先輩ALTのキャリルさん、ジョセフィンさん、マックスさん



マックス・エイデン・レビットキャンベルさんとジョセフィン・チョンさんがALT（外国語指導助手）として、荒尾市にやって来ました。マックスさんはニュージーランドのオタゴ州出身。日本のアニメが好きで、特にジブリの作品がお気に入りだそうです。ジョセフィンさんはカナダのオンタリオ州出身。ダンス・絵画・旅行が趣味だそうです。これから二人は市内の小中学校で、英語指導や自国の文化の紹介を行っていきます。

8/6 新鮮な海の幸をお届け ～漁協水産物直売店オープン～

▶毎週木・金・土曜の午前9時～正午に営業しています



漁協前に水産物直売店がオープンしました。漁協直営としては県内初です。水産物や水産物を使った惣菜などが、漁協直売ならではの鮮度と価格でお買い求めいただけます。オープン当日はセレモニーを開催。紅白まんじゅうの配布やスイカとマジャクの試食も行われました。買い物客は「マジャクを買いに来ました。安くて新鮮ですね。たくさん買ったので、調理して友人にお裾分けします」と大満足の様子でした。